

気候変動への適応策

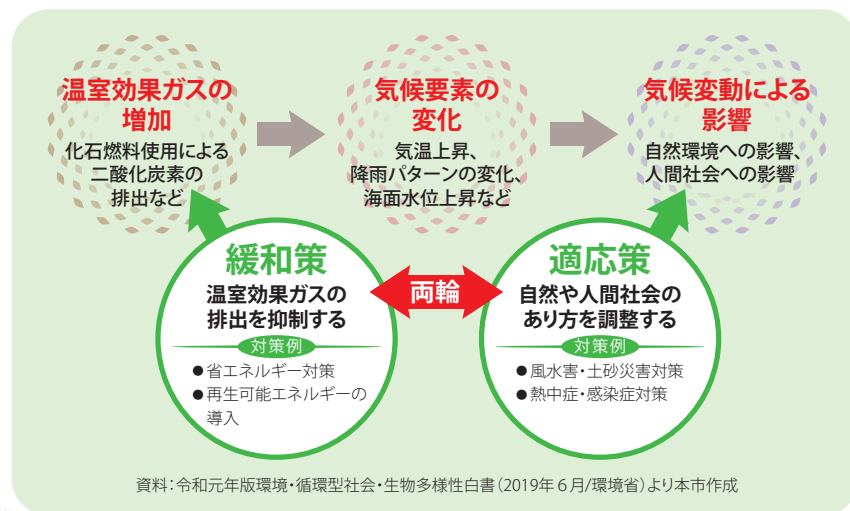
個々の気象現象と地球温暖化の関係を明確にすることは容易ではありませんが、今後、地球温暖化の進行に伴い、気温の上昇、大雨の頻度の増加や熱中症リスクの増加、動植物の分布域の変化、農作物の品質低下など、気候変動によるリスクがさらに高まることが予測されています。

温室効果ガス排出を抑制する「緩和策」に全力で取り組むことはもちろんのこと、起こりうる影響に対する自然や人間社会の在り方を調整する「適応策」に取り組むことも重要です。

札幌市に影響があると考えられる分野・項目



資料：気候変動適応情報プラットフォーム（A-PLAT）より本市作成



熱中症対策

熱中症を防ぐには日差しや暑さを避け、適切に水分や塩分を摂取するなどの対策が重要です。札幌市では、独自の注意喚起の仕組みとして「札幌版熱中症特別警戒アラート」を運用しているほか、アラート発表に至らない場合でも、熱中症の危険度が高くなると予想された際には、LINE公式アカウントを活用して、熱中症予防の呼びかけを行っています。

身近に暑さを避けられる環境がない場合は、札幌市が指定した「クーリングシェルター」もご利用いただけます。



※熱中症の注意喚起等の詳細については、上記二次元コードからご確認ください。